

2016年3月2日
イオン株式会社

ダイバーシティ経営の実現に向けて イオンの「イクボス企業同盟」加盟グループ企業が10社へ

イオン株式会社（以下、イオン）は、新たな価値を創造し続ける企業の実現を目指し、多様な価値観を活かすダイバーシティ経営を推進しています。その実現に向けた目標として「2020年女性の管理職比率50%」を掲げるとともに、ダイバーシティ経営に関する学習機会の創出や、事業所内保育施設や学童保育等のインフラ整備を行うなど、働きやすい企業づくりにグループを挙げて取り組んでいます。

イオンは、「イクボス」の育成を通じワークライフバランスのとれた働き方を実現することがダイバーシティ経営の推進に必要であると考え、2015年6月に小売業として初めて「イクボス企業同盟」に加盟しました。

以降、グループ企業各社が自主的に加盟し、各社の経営トップが「イクボス企業方針5カ条」を宣言することを進めてきましたが、このたび、株式会社イオンファンタジーの加盟により、加盟企業数が10社となりました。これは、企業グループでの加盟企業数としては最大となります。

「イクボス」育成の取り組みを推進した結果、株式会社ダイエーの役員が厚生労働省推進の「イクボスアワード2015」を受賞しました。また、社内の取り組みに加えて、地域と連携した「イクボス」育成へと活動の輪は広がり、イオンは、昨年11月、千葉市・千葉大学・千葉市内の企業3社と「イクボス共同宣言」を表明したほか、鈴木英敬三重県知事を社内の管理職研修にお招きして「イクボス推進トーク」セッションを実施しています。

今後もイオンは、絶えず革新し続ける企業集団として、多様な人材が互いに尊重し合える企業風土づくりをグループ一丸となって進めてまいります。

【ご参考】

◆「イクボス」について

ファザーリング・ジャパンが提唱・推進している人物像のことで、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（男女の経営者や管理職）を指します。

◆「イクボス企業同盟」について

女性活躍推進やイクメンなど社員が多様化する時代において、「イクボス」の必要性を認識し、積極的に自社の管理職の意識改革を行って、新しい時代の理想の上司（イクボス）を育てていこうとする企業のネットワークを指します。

（特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン ホームページ <http://fathering.jp/>）

◆イオングループの「イクボス企業同盟」加盟企業10社) 2016年3月現在

2015年 6月 イオン(株)、(株)ダイエー
9月 (株)山陽マルナカ
10月 イオンアグリ創造(株)、ミニストップ(株)
12月 マックスバリュ九州(株)、ブランシェス(株)
2016年 1月 イオントップバリュ(株)
2月 イオン九州(株)
3月 (株)イオンファンタジー

◆グループ企業の役員が「イクボスアワード2015」特別奨励賞を受賞

昨年10月19日、厚生労働省委託事業の「イクボスアワード2015」において、株式会社ダイエー執行役員の伊藤秀樹が特別奨励賞を受賞しました。業務効率を上げる取り組みを推進しながら、自身も育児休業を取得して仕事と育児の両立を実践、こうした経験から得た生活者視点をビジネスに活かした実績などが評価されました。

(イクボスアワード ホームページ <http://ikumen-project.jp/ikuboss/index.php>)

◆三重県知事を交え「イクボス推進トーク」を開催

昨年11月13日、イオンシネマ鈴鹿にて開催したグループのダイバーシティ研修に三重県鈴木英敬知事をお招きし、育児と仕事の両立についてグループの役員と意見を交わす「イクボス推進トーク」を開催しました。研修には、全国の「イオンシネマ」会場を中継してグループの管理職約1000名が参加し、ダイバーシティ経営の正しい理解と、管理職によるワークライフバランス実践の大切さについて理解を深めました。

◆千葉市での産・官・学による「イクボス共同宣言」を実施

昨年11月24日、千葉市、千葉大学、千葉市内の企業3社とともに、「イクボス共同宣言」を行いました。千葉市全体が子育て家庭にやさしく、日本一働きやすい都市となることを目指していくなかで、イオンはワークライフバランスの実践、ダイバーシティ推進に取り組むことを宣言しました。

イオンは、ダイバーシティがうみだす「従業員・家族」「お客さま」「会社」の満足を“ダイ満足”と表し、右のシンボルマークを掲げ、グループを挙げてダイバーシティ経営の実現に向けて取り組んでいます。

